



開発課題 1-2 (小目標)	【現状と課題】 長く続いた政治軍事危機の影響により、コートジボワールでは、行政による基礎的サービス提供機能が著しく低下し、地域間格差や、貧富などの格差が拡大した。その結果、国民の行政に対する信頼は失われ、社会不和が醸成された。同国政府は、グッドガバナンス、安全な社会等を重要課題と位置づけ、社会不和や地域間格差の解消や行政の信頼回復に努めてきていたものの、基礎的な行政サービスの強化回復と社会統合の促進は現在でも依然大きな課題となっている。PND2021-2025では「ガバナンス、国家の近代化及び行政機構とガバナンスの改革」が第6の柱として掲げられており、全国における包摂的で透明性のある行政サービスの提供の達成による社会の安定・地域間格差の縮小が喫緊の課題である。			【開発課題への対応方針】 内戦の影響で基礎的生活インフラが劣化・瓦解し、社会不和が醸成されたアビジャン及び中北部地域のコミュニティ及び地方自治体を対象として、基礎的な行政・社会サービスの回復及び強化を通じた社会融和の促進に資する支援を行う。										
	協カプログラム名	協カプログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	SDGs	備考	
安定した社会の形成	行政の信頼向上プログラム	行政機能等を改善し、住民に対する基礎的行政・社会サービス提供機能の強化を支援する。	大アビジャン圏社会統合促進のためのコミュニティ強化プロジェクト フェーズ2	技プロ	2021年度以前	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	6.00	1,10,11,16		
			中部・北部紛争影響地域の公共サービス改善のための人材育成プロジェクト フェーズ2	技プロ							8.00	4,6,16		
			アビジャン海洋科学技術学校機材整備計画	無償							6.50	14,16		
			教育分野の草の根・人間の安全保障無償資金協力	草の根無償							0.91	4		
			社会分野等の課題別研修	課題別研修他										
開発課題 1-3 (小目標)	【現状と課題】 コートジボワールでは内戦の影響により、保健医療サービスが停滞し、現在においても、妊産婦死亡率及び新生児死亡率といった母子保健指標はサブサハラ平均に比しても高い数値に留まっている。政府は保健システムの強化、保健財政の改善、保健医療サービス利用の向上、疾病対策の強化、母子保健の改善、栄養改善、公衆衛生・予防の促進を戦略軸に掲げ、保健ピラミッド各層のマネジメント強化、保健人材開発管理、医療施設・機材整備、妊産婦への統合的サービスの提供等を通じた、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）の達成を目指している。また2015年には「UHCに向けた国家保健財政戦略」も策定され、保健サービス利用者の経済的リスクの保障体制の整備にも重点が置かれている。PND2021-2025では、保健分野は第4の柱である「包摂性・国家連帯・社会活動」に位置づけられ、乳幼児死亡率の低減や保健施設の拡充などが具体的な目標として掲げられている。			【開発課題への対応方針】 妊産婦・新生児の継続ケア確立を中心的課題としつつ、①保健センター・総合病院・大学病院の各レベルにおける保健医療サービス提供体制の強化や利用促進、②母子を含む貧困世帯への医療保障制度の普及に向けた制度整備・実施支援を通じて、UHCの達成に向けた基礎的サービス強化に関する支援を行う。										
	協カプログラム名	協カプログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	SDGs	備考	
健康な社会の推進	女性・子ども・貧困層に向けたUHC推進プログラム	UHC達成に向け、保健システムや国民の健康に必要な基礎的医療サービスの強化のため、特に女性・子供・貧困層に重点を置いて支援する。	大アビジャン圏母子保健サービス改善のためのココディ大学病院整備計画	無償							41.63	3,5		
			保健プログラムアドバイザー	個別専門家										
			妊産婦・新生児継続ケア改善プロジェクト	技プロ							6.00	3,5		
			保健分野の草の根・人間の安全保障無償資金協力	草の根無償							0.19	3		
			保健分野等の課題別研修	課題別研修他										
			経済社会開発計画	無償							4.00	3	保健・医療体制整備	

重点分野 2 (中目標)	持続的な経済成長の推進													
開発課題 2-1 (小目標) インフラ整備	<p>【現状と課題】</p> <p>1960～70年代に整備された道路、鉄道、港湾等のインフラがコートジボワールを域内の大國に押し上げた。一方、1990年代以降の政治・経済不安により、インフラへの適切な投資・管理がなされなかったことから、老朽化、サービスの低下が著しい上、倍増した人口に対応するための容量が絶対的に不足している。</p> <p>同国政府はこれまで持続的なインフラ開発を開発計画における主要な柱として位置づけており、PND2021-2025でも、民間セクターの振興・投資の促進という観点から、引き続きインフラ開発を重点に位置づけている。</p>				<p>【開発課題への対応方針】</p> <p>「大アビジャン圏都市開発マスタープラン」及び「西アフリカ成長リング回廊整備戦略的マスタープラン」に基づき、西アフリカ地域のハブとしてのアビジャンの経済都市機能を高め、持続的な経済成長の基盤となる計画的な都市開発を実現するための協力及び国内の基幹インフラ整備を行う。また、アビジャン-バマコ回廊、アビジャン-ワガドゥグ回廊及びアビジャン-ラゴス回廊の要衝として、域内の経済成長に貢献するため、広域に裨益するインフラの整備を支援する。</p>									
	協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	SDGs	備考	
インフラ整備 プログラム		運輸交通（道路・港湾）、上下水道、エネルギー、情報通信等のインフラ整備および持続可能な都市開発を支援する。	第二次日本・コートジボワール友好交差点改善計画	無償	■	■	■	■				50.27	8,9,11	
		アビジャン港穀物バース建設計画	有償	■	■	■	■	■	■	■	■	108.69	8,9	
		アビジャン三交差点建設計画	有償	■	■	■	■	■	■	■	■	161.37	9,11	
		大アビジャン圏都市開発マスタープラン実施促進プロジェクト	技プロ	■	■	■	■	■	■	■	■	4.50	11	
		大アビジャン圏における持続可能な廃棄物処理の計画策定及び改善プロジェクト	開発計画		■	■	■	■	■	■	■	■	■	
		廃バッテリーのリユース・リサイクル技術導入による循環産業構築のための案件化調査	案件化調査	■	■	■								
		COVID-19禍における西アフリカ国境円滑化及び国境公衆衛生強化にかかる基礎情報収集調査	基礎情報調査	■	■	■								国際移住機関(IOM)連携
		新型コロナウイルス感染症を含む公衆衛生危機に対応するための国境管理能力向上計画 (IOM連携)	無償	■	■	■						5.44	6,8	
		インフラ・環境分野等の課題別研修	課題別研修他	■	■	■								

